

新庁舎の建設に向けて 市民会議を開催



これまでの経緯を聞き、質問する委員

5月30日、新しい市役所に必要な機能や規模を話し合う「長崎市新庁舎建設基本計画検討市民会議」の初会合が、市立図書館で開催されました。

初会合では、各分野の代表や公募などで選ばれた27人の市民の中から、長崎住まい・まちづくりトラス代表の鮫島和夫氏を会長に選任。

事務局から、現在の市役所は耐震性が不足していること、50年以上前の建物で使い勝手が悪く手狭で、窓口などが分散し市役所を利用する人が不便であることなど、建て替え決定に至るまでの経緯などが報告されました。

また、新庁舎の延べ床面積（駐車場部分を含む）を5万5千㎡程度とし、事業費は200億円程度を想定していることなどの説明を受けました。

この市民会議は、これから10月まで「市役所の新しい使い方」などテーマを決めてグループ協議を行い、出された意見を市長へ報告します。

市は、報告された意見などをもとに、今年度中に新庁舎建設の基本計画を策定する予定です。

新しい市役所へのアイデアを募集

よりよい市役所をつくるため、あなたの意見やアイデアをお寄せください。

募集テーマ

- ①市役所を利用して不便だと思うこと。
- ②用事がなくても行きたくなくなる市役所とは。

応募方法

募集テーマに沿った意見やアイデアをはがきか封書で、長崎市総合企画室（〒850-8685 桜町2-22）へ郵送してください。ファクス（829-1112）や市ホームページでも応募できます。

応募期限 7月31日（水）

■問い合わせ 総合企画室（☎829-1111）

大規模災害を想定して 約2千人が防災訓練



バケツリレーで初期消火。共助の力を確認。

5月22日、東公園多目的広場で、市総合防災訓練を実施。消防や警察、陸上自衛隊、地元の自治会、学校など34機関と団体、約2千人が参加しました。

「降り続く大雨の中、橘湾で震度6弱の地震が発生し、家屋の倒壊、がけ崩れ、火災などの災害に見舞われた」との想定。消防や自衛隊らが連携し、要救助者の捜索や救助訓練などを行いました。

また、会場では給水訓練や炊き出し訓練のほか、地震体験や煙体験なども行われ、参加した人たちは改めて訓練の大切さを実感していました。

■問い合わせ 防災危機管理室（☎822-0480）

地域の課題について意見交換



市長に直接、地域の実情を話しました

5月26日、「市長との地域懇談会」を伊王島地区で開催。自治会長など関係者が出席し、道路整備や市有地の有効活用などについて提案がありました。

懇談会は、地域の要望や提案などを市長が直接聴いて、市政に反映させるために実施しているもので、今年度は合併7地区で開催します。

■問い合わせ 広報広聴課（☎829-1114）